



菅生学園報

第4号 2020年秋季号



理事長メッセージ

目次

1. 理事長メッセージ
2. 菅生のあゆみ
3. 菅生高校 硬式野球部
東西東京大会制覇
4. with コロナの広報活動
5. 園長／校長メッセージ
トピック
活動報告
6. 今後の予定
7. 学園 夏の風景
8. 編集後記



理事長 島田 幸成

＝ コロナ禍において試される指導力そして運営力 ＝ ～野球部活躍に接して思うこと～

夏の東海大菅生高校野球部の活躍、コロナ禍において、大変勇気づけられる活躍だった。山田東海大学長をはじめ、多くの方々から激励やお祝いの言葉をいただいた。その影には選手にたいする監督の熱心な指導や、大会を運営する高野連などの支えがあったからにほかならない。選手の指導において、目標や目的をしっかりと理解させることは大切なことだ。甲子園でプレーすること、そのためなら選手は苦しい練習も耐えられる。しかし、甲子園出場はコロナのために無くなったのだから、選手はどれだけショックだったろう。若林監督はそれでも、決して選手に甘い言葉をかけず、檄をとばしたそう。それに答える選手諸君。甲子園はあくまで目標。目的は人間形成。野球を通じて人間力を磨く。こうした、指導者の考えが選手の活躍の背景にあるのだろう。

また、東京都高野連は今回、特別に東西のチャピオン大会を企画した。甲子園ではプレーできないけど、東京ナンバーワンになる。監督をはじめ、選手は目標を東京ナンバーワンに切り替え、そして、見事、菅生野球部はその目標を達成した。一方で、達成できなかった選手もそうした目標を設定して、頑張ったことはいまでもない。素晴らしいことだ。高野連の企画がなければ、選手はそうした目標、モチベーションを持てなかったわけで、今回、高野連の方たちには、選手たちの活躍の場を与えることがいかに大切であるかを我々に教えてくれた。心より感謝したい。

園や学校では、何が大切なのか？それは、園児、児童、生徒がそれぞれの目標にむけて頑張れるよう全力で応援する指導体制があること、そして、園児、児童、生徒が活躍できる環境があることだと思う。こう考えると、教職員や学校運営側の役割は非常に大きい。こうした役割は、コロナ禍にあっては、なおさら重要なのではないかな。今回の野球部活躍に接して、思ったところです。

菅生のあゆみ



夏季東西都高校野球大会
東西対抗戦での菅生高校
硬式野球部勝利を祝って、
野球部OBで巨人軍で活躍
中の高橋優貴投手からお
祝いのお花が届きました。



副理事長 島田 洋子

＝ 菅生のスポーツの歩み ＝

菅生学園のスポーツ関係の全員参加の行事として、まず体育祭が毎年開催されます。私は高校が創立して初めてのころの運動会を見ましたが、熱血的高校生の活動の中で、今でも心に残っている懐かしい思い出を述べたいと思います。

まず一人ひとりの活動が見られた徒競走は、各々の生徒が全速力で恐さを感じられるほどのスピードで力いっぱい走っている姿は、高校生のすばらしい成長が見られました。次のプログラムは玉入れでしたが、私が見てきた玉入れとは違い、華やかな7、8色の玉を7メートルほどの高さの籠に投げ入れる、感動的なゲームで、一人ひとりの生徒の活発な動きが見られました。最後のプログラム教職員の障害物競走は、大きな体で小さな車や三輪車に乗し、しかもはやかな仮装スタイルで苦戦して運転している通常と異なる先生たちの姿を生徒たちは爆笑しながら応援していました。

次の年は、体育祭に多摩学院幼稚園の園児全員が招かれ、鼓笛演奏を行ったことがありました。童謡メドレーの幼い曲でしたが、大きなグラウンドの中で小さな円や四角の線の上を、3、4、5歳児が太鼓や楽器を手にリズム行進を行ったことは、園児たちにとってもよい経験だったことと思います。菅生の先生や高校生も笑顔で聴いてくださいました。

本校の野球部が今年、東京一を目指して大活躍を果たしましたように、他のスポーツもそれぞれの目標を目指して前進し、さらなる成長を期待いたします。

Nothing is impossible! Motivation is Everything!!



～試合結果～

2回戦

駒沢学園 000 000 00 0
東海大菅生 005 000 02_x 7
(8回コールド)

3回戦

東海大菅生 111 224 11
東大和 000 000 0
(6回コールド)

東西決戦

帝京 010 010 000 * 2 *
東海大菅生 000 000 003_x * 3 *

4回戦

中大杉並 000 000 010 1
東海大菅生 001 000 001_x 2

準々決勝

日大二 200 101 0 4
東海大菅生 110 122 4_x 11
(7回コールド)

準決勝

創価 000 022 10 5
東海大菅生 301 012 05_x 12
(8回コールド)

決勝

佼成学園 001 001 0010 3
東海大菅生 001 000 0111_x 4
(延長10回)

メンバー

1 新倉 寛之	11 藤井 翔
2 臼井 直生	12 福原 聖也
3 小田村 涼	13 杉浦 敦基
4 玉置 真虎(主将)	14 本田 峻也
5 杉崎 成	15 山田 聖和
6 沼澤 大翔	16 千田光一郎
7 森下 晴貴	17 広瀬 楽人
8 榮 壘唯	18 内田 亮太
9 堀町 沖永	19 中村 愛熙
10 栗原 怜磨	20 岩下 快生

3年生

上山 雄大	瀬尾 優奈
鎌田 滉大	高橋 昇太郎
上戸 鎖 光	多田 葵
北出 秀晃	鶴口 侑里
國部 涼剣	都留 大輔
込山 愛理	永田 琉偉
酒井 堅梧	八木 一樹
鈴木 優人	山下 隼輝

ご声援ありがとうございました。

甲子園はなくなってしまいましたが、“東京の頂点”という最高のかたちで終えることができ、自分達にも多くの方々にも記憶に残る大会となりました。高校野球を通じて学んだことを生かしながら、それぞれがまた新たな道に向けて、頑張っていきたいと思います。

36期 3年生一同

監督 若林 弘泰

部長 田中 聡

自粛期間が明けた最初の練習のときの選手の動きを見て驚きました。全員がレベルアップして戻ってきており、これは夏大会で勝負になると感じた瞬間でした。

大会が始まると一進一退の試合が続きましたが、3年生を中心とした執念のプレーに助けられました。全員が戦力であり、3年生の執念で掴み取った東京No.1だと感じております。

大会期間中は多くのご声援をいただき選手たちの力になりました。本当にありがとうございます。秋季大会に向かい新チームも始動しております。今後とも熱い声援をよろしくお願いします。

無事にコロナ感染者を出すことなく大会を終えられたことに、ほっとしております。今年度は例年とは異なり、春季大会は中止、限られた練習量での大会となりチーム力は未知数の中での戦いとなりました。

東西対決での帝京戦では、9回裏、3番・森下(3年)が左中間に三塁打を放ち、土壇場で追いつく。6番・臼井(3年)がヒットを放ちサヨナラ勝ち。まさに、最後まで諦めない執念の気持ち、チームのスローガンである“不可能はない！やる気になれば何でもできる！”が実現した瞬間でした。

新チームが始動しました。3年生を選抜大会で甲子園に連れて行けるように頑張りたいと思います。今後とも東海大学菅生野球部をよろしくお願いします。

作成者 硬式野球部 部長 田中 聡

withコロナの広報活動

菅生学園初等学校

初等学校ではいち早く4月25日に配信によるオンライン説明会を実施、45組の参加者があり、初めてのチャレンジは大成功と言えるものでした。

6月には、アフタースクールに取り組んでいました。

7月18日にはスクールトライアルを開催しました。感染症対策のため昨年とは違って制約もある中で、英語と算数の授業体験を行いました。8月22日にはオンライン授業見学を実施。「ゆたかの時間」の様子を菅生Farm、鯉川、教室をつないでの授業中継となりました。青空のもと目を輝かせて授業に参加する子どもたちの様子、外で観察したものをiPadを使って教室でまとめる様子など、「ゆたかの時間」の充実した内容が好評でした。

制約はありますが、オンラインならではののおもしろい取り組みもでき、今後の活動に活かしていきたいと思います。



菅生高等学校中部

コロナ渦中において、春の広報イベントである「自然観察教室」や「学びの城主催の塾対象説明会」が相次いで中止となりました。例年この二つのイベントを皮切りに、中部部の広報活動は本格化していくので大変厳しいスタートとなりました。6月6日開催の第一回学校説明会はWEBで行いましたが、協議の結果、7月のオープンスクール以降は、出来る限り従来に近いスタイルで行うことが決まりました。

緊急事態宣言が解除されるまでは、塾訪問も行えず、説明会の参加予約者を増やす難しさはありましたが、休校中の授業動画やスタディサブリの課題配信、担任からの定期連絡など、本校の取り組みを積極的にアピールしました。また前年度に説明会に参加頂いたご家庭や、資料請求のあったすべてのご家庭に対しては、「説明会のご案内」通知をお送りしました。アナログ的手法ではありましたが、大変嬉しいことに約七割の方々からWEB説明会やオープンスクール、また学校見学・クラブ体験への予約がありました。

現在の社会状況において、今後の広報活動は益々厳しさを増していくと思われますが、中部部皆で協力し、乗り越えていければと考えています。

7月19日 体験教室(美術)



8月22日 算数教室



菅生高等学校

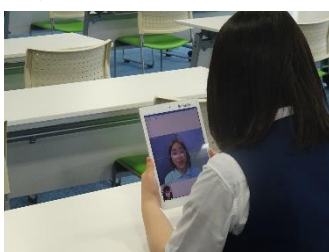
菅生高校では、7月23日に第1回の学校説明会を行いました。入場人数を大幅に制限しての開催となりましたが、希望者をお断りしなければならないほどの盛況となりました。感染症対策を行い、制約もある中、生徒スタッフのがんばりが目を引きました。8月19日に10組限定で実施した特別進学コースの説明会では、オンライン英会話の体験も行われました。

7月には学校紹介動画第1弾の配信がスタート。説明会等での参加人数制限がある中、一人でも多くの方に学校の様子が伝わることを願っています。8月に入ってから第2弾、第3弾と次々に動画をリリース。施設、生徒作品、部活動の様子を伝え、よりリアルに菅生高校の様子を伝えています。

7月23日 学校説明会



8月19日 特別進学コース説明会



学校紹介動画 第1弾



多摩学院幼稚園

園長メッセージ



仲野 三千代園長

＝ 心ある「教育と保育」を ＝

コスモスの花が秋風に揺れる季節となりました。

例年とは違い、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底が求められている最中、今以上に教職員が一丸となり、心ある「教育と保育」を邁進しています。
子ども達のために、「楽しむ」ことを重視してきました。何事もプラス思考で意識し、行動し続けることで、指導法も変化して、質の高い教育に繋がって行きます。
コロナ禍により、園児も自然と「学び」、考え方や行動する意識も進化してきております。
これから教職員が笑顔いっぱい希望を持ち輝き、未来に向かい1日1日を大切に躍進していきたいと思います。
皆様の応援をどうぞよろしくお願いいたします。

トピック

＝ 夏祭り ＝

今年度の夏祭りは、新型コロナウイルスの影響で保護者と共に模擬店を回ったりみんなで盆踊りをするなど、例年のような夏祭りとはいきませんでした。職員と子どもたちで楽しく行えるよう準備し、3日間開催されました。

1日目は、各クラスで考えたお店屋さんがオープンしました。子どもたちはお財布を作り、マイバッグを持ち、お買い物に行きました。

2日目は、各クラスでうちわ制作を行いました。かき氷やひまわり、花火など夏らしいものが出来上がり、展示されると子どもたちはとても喜んでいました。

3日目は、浴衣や甚平を着て登園し、年長さんのお店屋さん、幼稚園からのお店屋さん「ガシャポン」、各クラスごとに盆踊りをしました。

普段はなかなか異年齢で関わるのが難しい中、お店屋さんでちょっぴり緊張しながらも「いらっしやいませー!!」と各クラスで交流することができました。3日間のはあつという間で、毎日「楽しかったー」とたくさんのニコニコ笑顔が見られる夏祭りとなりました。

笑顔はじける夏祭りになりました

【1日目】



【2日目】



【3日目】



活動報告

- 6/16 交通安全教室
- 7/17 七夕なかよし会(保護者参観なし)
- 7/22 年長組お楽しみ会
- 7/28～30 夏祭り(保護者参観なし)
- 7/31 1学期終業式
- 8/17～28 夏期保育



菅生学園初等学校

校長メッセージ



下平 孝富校長

= With COVID-19 ? =

「特別な夏」という言葉が報道でも使われていますが、確かに今年の夏は特別でした。初等学校では授業時間を確保するために8月7日(金)まで平常授業を行い、すでに8月17日(月)から授業を再開しています。児童にとっては、7月の20日前後に終業式を行い、夏休みへ突入。宿泊行事はあるものの、基本的には休み満喫の日々を過ごすのが「いつもの夏」。しかしながら、今年は実質1週間程度のお休みでした。いつもの夏休みであれば、読書にいそんだり家族で長期旅行へ出かけたりと楽しい日々だったと思いますが、今回の「特別な夏」をどう過ごしたのでしょうか？元気に登校してくれている様子を見て、少しホッとしています。

コロナウィルスの拡大は、日々収まるところを知らずという感じです。私も実家への帰省は見合わせ、旧盆の様々な行事も中止して自宅にじっとしておりました。そんな中、15日は終戦記念日であったためか、戦争に関する特集番組や映画が多く放映されておりました。それを見るにつけ、理不尽に命を奪われる可能性は低い世の中であることはありがたいと感じました。しかし今年の「特別な夏」は、「コロナウィルス」と「熱中症」という2大脅威に気をつけねばなりません。特にコロナウィルスとはこれからも共存を余儀なくされる時代、児童たちにもそれをしっかり意識してもらいながら教育活動を進めねばならないと強く感じます。

そんな時代にできる最善の策は、一人ひとりが自衛をすることのようです。「手洗い」と「うがい」の励行と、体力をつけて免疫力を高めるしかないようです。本校児童にも「そこにウィルスはいる」という自覚をしっかりと持ってもらいつつ、過度に委縮することなく元気に過ごしてほしいと切に願っています。

トピック

= オンライン授業見学「ゆたかの時間」 =

8月22日(土)に初等学校の特色ある教育の1つ「ゆたかの時間」の授業をWebにてライブ配信しました。説明会には30組が参加しました。

外では1年生がサツマイモ畑の雑草抜きと観察をする様子、2、3年生が鯉川で生き物採集する様子、5年生が稲の中干し作業をする様子を伝え、教室からは4年生は先日行ったフィールドワークの調べ学習の様子を伝えました。

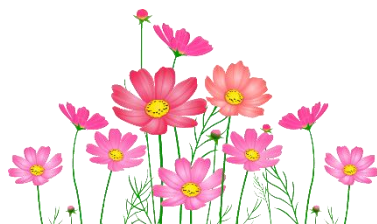
終了後には、参加した幼稚園児が教員に質問をする場面があり、ほのぼのとしたやりとりがありました。

いきいきと活動する児童の様子が伝えられました



活動報告

8/7(金)まで授業実施 8/17(月)より授業再開
8/17~27 レプトン特別授業(英会話) 全8回 希望者
8/29 終業式
9/ 1 始業式 避難訓練 引き渡し訓練
9/ 2 外部模試 実施(6年生)



菅生高等学校中部

校長メッセージ

下平 孝富校長

＝ 私学にとって試練の時代!? ＝

昨今の報道番組を見ていると、「コロナウィルス関連」のものばかりが目につきます。主なものは、本日の感染者数についてとそれに対する専門医のコメントなどです。また、視野を広げてNewsをながめれば、コロナウィルスによる経済の落ち込みに関したのも多いようです。

先日の報道の中で特に気になったものが2つありました。GDPの落ち込みに関するものと立命館大学の学生新聞のアンケート結果についてのものです。

GDPについては、日本の内閣府が、17日、2020年4～6月期の国内総生産(GDP)が前期比年率27.8%縮小したと発表しました。新型コロナウィルスのパンデミック(世界的流行)に取り組む中で、現行基準の1980年以降で最悪の落ち込みとなったそうです。

また、もう一つは立命館大の学部生の2.3%が退学を本格的に考えているとのアンケート結果を、立命館大学新聞が20日までに明らかにしました。「どうするか考えている」は7.5%で、退学を視野に入れている学生は計9.8%に上り、休学を視野に考えていると答えた学生は計25.6%もいるそうです。

どちらの記事も本校にとっては対岸の火事とはいえません。大学はリモート授業続きで、学費面や教育の環境面からの不満も大きいかもしれませんが、とりわけ生徒募集にとっては由々しき問題です。

義務教育期間である中学校は、私学をあきらめる動きが顕著となる可能性も高いと考えられます。平常時と異なる今は通常の手法での募集では太刀打ちできない可能性がある時代となったと感じます。私学ならではの授業の提供は当然として、募集の対象マーケットを拡大しておく必要性を痛感しています。

「権変の時はいともたけ、一道のよく定るところに非ざるなり」三国志に登場する軍師 龐統の言葉が身に染みる今日この頃です。

トピック

＝ 特色ある行事紹介「静岡三保校外学習」＝

中部部の一年生は校外学習において、東海大学発祥の地である静岡県の三保を訪れます。この二泊三日の研修を通じて、東海大学の建学の精神をはじめ、中学生として身につけるべき礼法を学びます。また、入学したての生徒にとって寝食を共にすることは、お互いに親睦を深め合う上でも、たいへん良い機会となっています。

三日間の研修内容には、クラス単位での様々な活動が組み込まれています。例をあげますと、校歌の歌詞をすべて暗記して歌うことや、皆が楽しめるレクリエーションを、自分たちで企画して運営することなどです。難しい課題もありますが、一つ一つを相談し協力しながら成し遂げていくことで、喜びや達成感を共有できます。中部部では開校以来、この「協同作業」を重要視し大切にしています。

今年度は校内研修となりましたが、生徒会活動やクラブ活動の場を通じて、先輩から後輩たちへの「学びのリレー」は確実につながっています。一年生の大きな声での挨拶や返事はそのあらわれの一つです。こうして菅生中部部の伝統文化が引き継がれ、あらたに築かれていくことを私たち教職員はたいへん嬉しく思います。

昨年の「静岡三保校外学習」の様子

東海大学三保研修館



東海大学自然史博物館見学



活動報告

- 6／6 第1回学校説明会(web説明会)
- 6／10 第1回スプリングコンテスト
- 7／19 第1回オープンスクール
- 8／22 第2回学校説明会
- 8／26 第2回スプリングコンテスト



菅生高等学校

校長メッセージ



峰岸 英仁校長

＝ 誇れる東海大菅生 ＝

本来ならば、今年の夏は東京オリンピックで大いに盛り上がったはずでした。そして、日本のチームや選手がメダルを取れば、嬉しくて「日本国民でよかった」と思ったでしょう。オリンピックが延期になったことは残念でしたが、私達には、おそらくそれ以上に感動し、東海大菅生の一員であることを誇りに思えることがありました。その一つは、硬式野球部が2020年夏季東西東京都高等学校野球大会において東京都ナンバーワンになったことです。西東京大会の決勝そして東西決戦とも、追い込まれた瀬戸際からの「サヨナラ」で勝利しました。応援席の「祈り」が、まさに現実となるドラマチックなゲームでした。どちらもピンチに屈せず、実力を発揮でき、勝利の栄冠を勝ち取れたのです。そして、もう一つあります。それは、卓球部男子が東京都総体の代替大会「Tokyo Thanks Match」で団体戦優勝、シングルスでは優勝・準優勝さらにベスト8に本校生徒6人が入る活躍をしたことです。団体戦の決勝はマッチポイントを取られた瀬戸際からの逆転で優勝を決めました。

たいてい決勝ともなれば、どちらのチーム・選手も技量には大きな差はないでしょう。勝者になるためには、重要な局面で実力を発揮できなければなりません。そのためにはネガティブにならない強い気持ちが必要です。本校の選手は緊張する場面でも自分を信じ、仲間を信頼しポジティブになれる強い気持ちを持っていたのです。その強い気持ちはどこからくるのでしょうか。私は部活の伝統・慣習から醸成されてきた「気風（きふう）」だと思います。若林先生（監督）がよく言われている「普段の生活がプレーに出る」ということにも通じます。つまり、全く同じメンバーだったとしても、他のチームで参加していたら勝てなかったかもしれません、東海大菅生のチームで鍛錬したからこそ、実力を発揮できたとも言えます。

私たちは、このような校風の中で活動していますから、その一員であることに誇りを持ち、自分を信じ仲間を信頼しさらに活躍したいと願っています。

トピック

＝ 3年目を迎えた「すららネット」の活用 ＝

本校では2018年度からインターネットを通じて学ぶ対話型デジタル教材「すららネット」を導入して、生徒一人ひとりにあった学習を実現しています。一人一台のChromebookで「すららネット」を活用することで、部活動があっても家庭学習時間を確保することにつながっています。これによって英語ではGTECのポイントがそれまでの学年平均よりも10%上昇するなど、着実に成果が見られています。

6月25日には「すららネット」の事例紹介セミナーに英語科谷野龍太先生が登壇し、文部両道の支援ツールとしてのすららネットの活用状況を報告しました。

EdTech活用事例としてサイトでも紹介されました



活動報告

6／ 1～20	教育実習
7／16, 17, 20	健康診断
7／23	学校説明会
7／31	全校集会
8／24	全校集会
8／24～9／12	教育実習



9～12月の予定

多摩学院幼稚園

9／ 1	2学期始業式	11／12	横田メンデル幼稚園交流会
9／ 3	避難訓練引き渡し	11／19	勤労感謝の集い
10／ 3	運動会	12／ 5	クリスマス会
10／ 8	遠足(年少・年中)	12／ 9	おもちつき大会
10／14	お芋掘り(年少・年中)	12／18	2学期終業式
10／22	サイクリング遠足(年長)	※新型コロナウイルス感染防止の為、行事が変更または中止になることがあります。	
11／ 5	みかん狩り		

菅生学園初等学校

9/ 8 水道キャラバン(4年)	10/17 6年生保護者会	11/13 第3回避難訓練
9/12 授業参観日	10/19～23 6年生校長面談	11/14 第2回入学試験
9/16 TGG 体験学習(5・6年)	10/24 スッガニア	11/19～22 6年生 京都・奈良 修学旅行
9/30 社会科見学(4年)	× English & Nature	11/28 マラソン大会
10/ 3 オープンスクール	11/ 1 第1回入学試験	12/ 5 第3回入学試験
10/ 7～12 6年生三者面談	11/ 7 第14回運動会	12/15～18 個人面談
10/13 開校記念日	11/11 全校遠足	12/19 スッガニア×Art & Craft
		12/25 終業式

菅生高等学校中部

9/ 1 避難訓練	10/13 開校記念式典	11/28 第1回入試体験教室
9/12 夜の学校説明会	10/24 第1回理科実験教室	12/ 5 第2回理科実験教室
9/14～19 授業公開	10/27 鎌倉校外学習② 郷土学習①	12/17 音楽祭
9/15 塾対象説明会(立川グランドホテル)	生徒会役員選挙	12/19 秋川駅周辺清掃
9/30 スポーツ大会	11/ 7 第3回学校説明会	10/30 12/20 第2回入試体験教室
10/ 1 学期更新式	11/11 夢育て講座	
10/ 9 芸術鑑賞教室	(様々な職業の方々、卒業生の指導による職業体験)	
10/11 第2回オープンスクール		

菅生高等学校

9/ 1 防災訓練	10/10 学校説明会	11/20 学校説明会・吹奏楽定期演奏会
9/ 5 オープンスクール	10/13 開校記念式典	11/24～28 修学旅行
9/ 6 合唱部定期演奏会	10/17 授業公開	12/ 6 学校説明会
9/22 西多摩吹奏楽祭	10/24 学校説明会	12/12 個別相談会
9/29 学期更新式	11/ 7 学校説明会	12/19 全校集会
9/30 体育祭	11/13 生徒会選挙	
10/ 9 芸術鑑賞教室	11/14 保護者会	

学園 夏の風景



編集後記



緊急対応が続く春、夏が足早に過ぎ、学びの城の菅生farmでは稲穂が実っています。

様々な困難が続く中、高校硬式野球部が東京東西王者となる嬉しいニュースがありました。最後まであきらめずに全力投球する選手の皆さんの姿に、学園全体が励まされました。

授業研究の第一人者京都大学石井英真教授は「生徒と先生の学ぶ姿は恐ろしいほど相似形」とおっしゃっています。学園の児童・生徒のがんばりは教職員のがんばりあってこそ。それぞれが学び、そして互いに学びあって前進していければと思います。

執筆・編集にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。